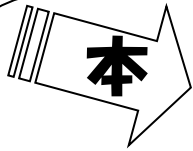


なびいで話題になることの一つに、[自分の時間をどう楽しむか]というテーマがあります。自分で試行錯誤するのもいいですが、他の方の工夫を聞くと、「なるほど」と思うことも多いですね。趣味として、読書や映画鑑賞を挙げる方も多いので、みなさんおススメの本や映画をなびい通信でご紹介してみようかなと思いました。

みなさんには、お気に入りの作品、ありますか？



「アミ小さな宇宙人」 エンリケ・バリオス著 徳間書店



読書ってたいへんじゃないですか？ ピタッとはまる本に出会えばいいのですが、そればかりじゃない！ということで今回紹介するのは、いつでも、どこから読んでも大丈夫な本。もちろん「自分はちゃんと通して読む派です」という方はそのように。

物語は、“アミ”という宇宙人と“ペドロ”という地球人の男の子の交流を描いています。初版は1995年と古めですが、1995年は阪神淡路大震災が起きた年。「今年の漢字」が始まったのも実はこの年です。

物語では、(地球人の)社会の様々な問題や常識、考え方を、アミが的確にペドロ少年に問いかけ、その交流を通して少年が成長していきます。章ごとに様々な交流が描かれるので、冒頭でどこから読んでも大丈夫と紹介しました。

知ることの大切さ、考えることの大切さをひしひしと感じる1冊です。そしてそれだけでなく「そういう風に考えればいいんだ」と心温まるのも、この本のいいところです。

(紹介者：榎原 英資)

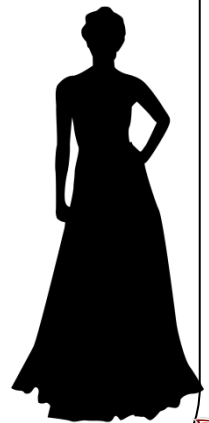


「美女と野獣」 ディズニー



GW頃から映画館で公開しています。ディズニーアニメ「美女と野獣」を実写化した作品。実写になったことでより豪華で、よりロマンティックな映像になっていました。野獣だけでなく、まわりの登場人物もちょっと一癖ある人たちばかり。今回の主人公ベルは、アニメ版よりも“可愛いけど変わり者”度が上がっています(なのにキュート！)。アニメとは違う部分もいろいろありますが、そんな違いも面白く魅力的です。私はミュージカルが好きなので、お話の中のミュージカルシーンにうっとりして、綺麗なCGにもうっとりして、とても楽しめる映画でした。ちなみに、立川の映画館は<極上音響>らしいです。確かにとてもよかったです！

(紹介者：高橋 智子)



編集部より ☞ 今号は、上記の通り、おススメの本と映画を取り上げましたが、なびいのフリースペースや面接室にも、本と映画のおススメコーナーをつくりました。お立ち寄りの際は、のぞいてみてください。みなさまからもおススメがありましたら、コーナーに一言残してもらえると嬉しいです。みんなが繋がれる場でありたいですね。／ ☞ 精神保健福祉法案が現在国会で審議中です。必要な支援は使いながらも、それと同時に、一人一人が自由でいられる社会であるように願っています。